



皆様のご協力をお願いします ～赤い羽根共同募金運動～

「じぶんの町を良くするしくみ。
寄付した方々の地域でいきる
募金です。」

「支える人を 支える募金」を

キヤッチコピーに掲げ、今年度も、
10月1日～翌年3月31日まで赤い羽

根共同募金運動が実施されます。
共同募金は、社会福祉法に基づく

寄付金の募集で、民間団体である共
同募金会が募金活動を展開していま
す。昭和22年（1947年）に「国

民たすけあい運動」として始まった
募金運動は、長年にわたって皆様の
ご支援ご協力に支えられ、今年で
79回目を迎えます。

今年度も、皆が安心して暮らせる
まちづくりを目指し、募金運動を開
いてまいりますので、温かいご支
援、ご協力をお願いします。

● ● ●

共同募金目標額と募金運動

共同募金は、その多くが、寄付し
た方がお住まいの市町村の社会福
祉協議会や福祉団体、福祉のまちづ
くりを開催する団体、町内会等が行
う活動に助成され、ひとり暮らし高
齢者の買い物支援や子ども食堂、福
祉教育（キヤッピハンディ体験等）

金です。に関する計画を立てて行う「計画募

夏祭りなどの地域の世代間交流や町
内会の備品整備等、住民の皆さんが必要とする活動やサービスに活用されています。

また、大規模災害の発生時には、

災害ボランティアセンター等の設置・
運営資金としても活用され、昨年1
月に発生した令和6年能登半島地震
災害の際は、本会からも800万円
を石川県へ拠出しました。

各市町村共同募金委員会では、自分の地域の「募金目標額」を達成するためには必要な額を「目標額」として、各世帯に募金の協力を依頼しています。

募金運動は、地区の自治会の役員や民生委員、地域の学生などの募金ボランティアの方々のご協力により実施されます。募金の種類には、各世帯からの協力による「戸別募金」のほか、地域のスーパーマーケット前やアーケードなどにて通行人を対象に実施される「街頭募金」、地域の産業まつりや福祉まつり等にて実施される「イベント募金」、福祉教育を目的として児童生徒により実施される「学校募金」、企業を対象とした「法人募金」や企業の従業員を対象とする「職域募金」がありますなどご協力をお願いしています。



令和6年度共同募金運動の様子



令和7年度の募金目標額

3億4,989万円

赤い羽根募金 2億1,937万円
 歳末たすけあい募金 1億3,051万円
 テーマ型募金 88万円



令和7年度共同募金運動ポスター

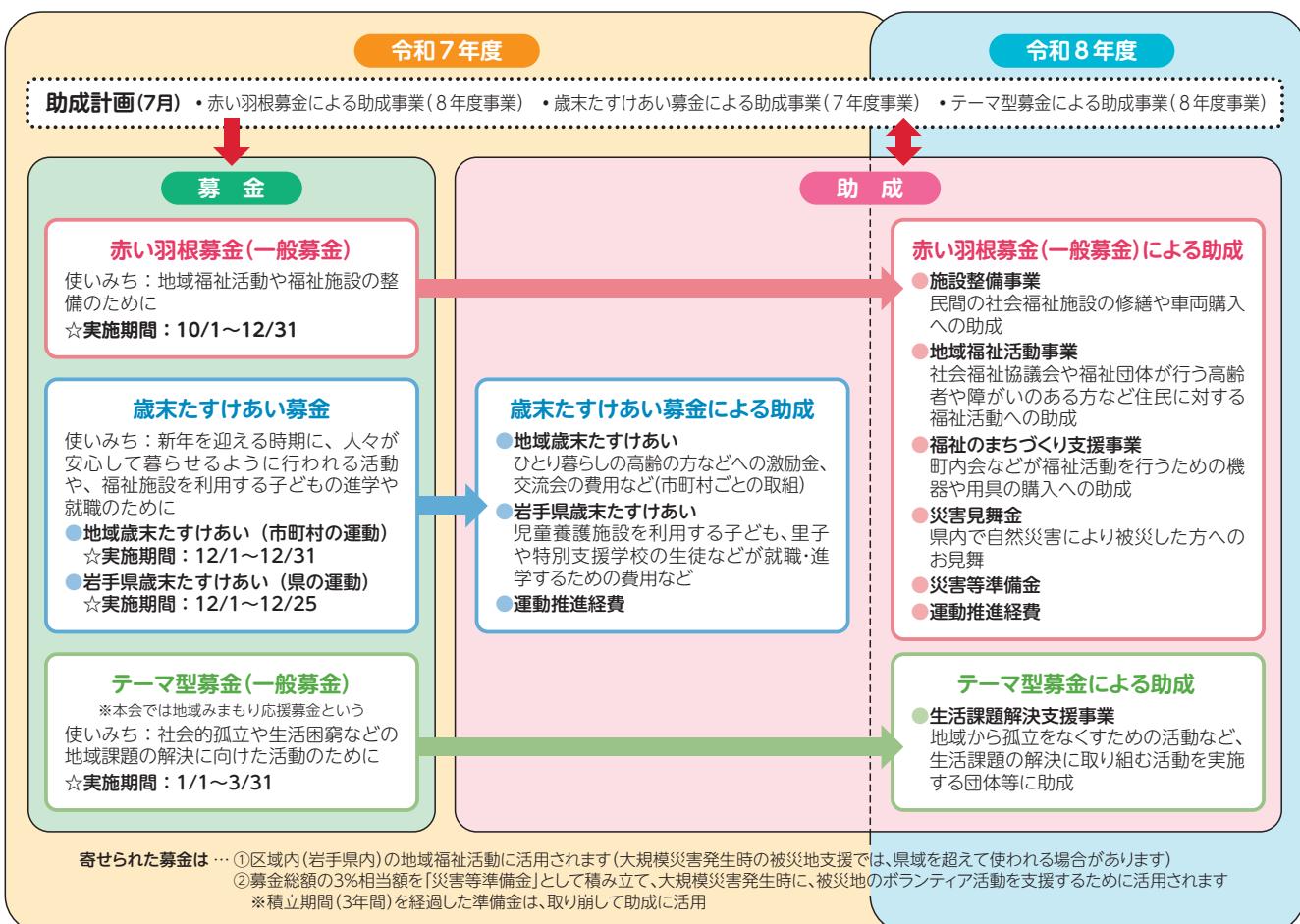
募金の主な使いみち

«例えば、赤い羽根は、地域のこんな活動に使われています»

社会福祉施設利用者へのサービス向上に向けた施設整備に（建物修繕、車両・機器整備）	786万円
社会福祉協議会や福祉団体等が行う地域福祉活動に（高齢者・障がい者・子育て家庭等にむけた活動、生活困窮者支援など）	1億2,979万円
ボランティア団体、町内会等の福祉のまちづくり活動に	400万円
災害支援に	100万円
・火災・風水害等による被災世帯への見舞金	1,049万円
・大規模災害時に行う支援活動の準備金	
歳末たすけあい助成に（一人暮らし高齢者・障がい者への激励金、児童養護施設入所児等への進学・就職支度金など）	1億2,507万円
※市町村により助成内容が異なります	
県内の共同募金運動を推進するために（県共同募金会・市町村共同募金委員会の事務費など）	6,384万円

共同募金のしくみ

共同募金は、使いみち(助成計画)をもとに募金目標を掲げ、募金への協力をお願いしています。



助成事例

●川舟地区サロン会（西和賀町）

川舟地区サロン会では、地域の皆さんの介護予防や社会参加のためのサロン活動を行っています。

助成金で車いす用スロープを導入したことにより、継続して参加している皆さんにとって、この先もサロンに参加できるという安心感が生まれ、体調面での理由により参加が難しかった皆さんにも積極的に声掛けをしてサロンへの参加の呼びかけができるようになりました。

これからも車いす用スロープを活用し、活動を充実させていきます。



●ボランティア活動センター運営事業（大船渡市社会福祉協議会）

住民のボランティア活動の活性化を図るために、ボランティア養成講座の開催や、おおふなどボランティア活動連絡会の運営の支援を行っています。

資材の整備や保険の加入などボランティアの参加を促進する上で、貴重な活動費となっています。

大規模林野火災発生の際は、たくさんのボランティアの方々に協力をいただきました。



●上の山自治会（滝沢市）

「食」をテーマに高齢者等の外出機会を作り、調理作業による健康効果と食生活のノウハウの取得や、食事会を通じた住民との交流会等の事業を実施しています。

いきいきサロン、世代間交流などの行事で、助成金で購入したホットプレートを活用しています。ホットプレートを囲んで会員同士の会話が弾み、交流することで地域のつながりが広がっています。

これからさらに新しいメニューを楽しみ、交流の場で活用していきたいです。



●ジュニアボランティア探検隊、キャップハンディ体験学習（矢巾町社会福祉協議会）

町内の小学校4年生～6年生を対象に、ボランティア探検隊を募集し、町内外の福祉施設等でのボランティア活動を通して、自分でできるボランティア活動について学ぶ機会と、町内小中学校でのキャップハンディ体験学習を通して障がいに対する理解や福祉について学ぶ機会づくりを行いました。



共同募金に関するお問い合わせは、所在地の市町村共同募金委員会(市町村社会福祉協議会)又は岩手県共同募金会までお願いします。

社会福祉法人 岩手県共同募金会

〒020-0831 盛岡市三本柳8-1-3 電話: 019-637-8889 FAX: 019-637-9712
E-mail: iwate-kyoubo@iwate-shakyo.or.jp

ソウェルクラブ

(福利厚生センター)ご加入のおすすめ

新規会員 募集中!

会員数 約270,000人 /

職員の健康管理のために

- 生活習慣病予防健診費用助成
- 健康生活用品給付
- スポーツクラブ
- 電話健康相談

職員の慶事のお祝いに

- 結婚お祝品贈呈
- 出産お祝品贈呈
- 入学お祝品贈呈
- 永年勤続記念品贈呈
- 長期勤続者退職慰労記念品贈呈

地域に密着した事業

- 会員交流事業(旅行・観劇・スポーツ大会等)
- 地域開発メニュー

職員の万一の際に

- 会員の死亡弔慰金
- 会員の配偶者の死亡弔慰金
- 会員の入院・手術見舞金
- 災害見舞金

職員の余暇活用のために

- 指定保養所…休暇村、KKR、グリーンピア
- 会員制リゾート施設…ラフォーレ俱楽部セラヴィリゾート泉郷
- クラブ・サークル活動助成
- 国内・海外旅行
- レンタカー
- カルチャースクール等

職員の資質向上のために

- 資格取得記念品贈呈
- メンタルヘルス講習会
- 接遇講習会
- ハラスマント防止講習会
- e-ラーニング
(Excel、Word、PowerPoint、コンプライアンス、メンタルヘルス)

- 国内外20万件以上の施設や
サービスを会員価格で利用できる
- ソウェルクラブ“クラブオブ”

職員の生活サポートのために

- 住宅ローン
- 特別資金ローン
- ソウェル団体生命保険・傷害保険
- 小売店、引越サービス、文具・消耗品、書籍等

各種情報提供

- 会員情報誌
- ホームページ

加入要件

- ・契約対象者…社会福祉事業又は介護保険事業を経営する者
- ・加入対象事業…社会福祉事業又は介護保険事業
- ・加入対象者…上記事業に従事する役職員全員(非常勤職員含む)

掛金

- ・第1種会員(常勤職員向け)…毎年度1万円
 - ・第2種会員(非常勤職員向け)…毎年度5千円
- ※非常勤職員が第1種に入会することもできます。
※第2種会員は、利用できるサービスが一部限定されます。

ソウェルクラブ
Sowel
CLUB



加入申し込み、お問い合わせは、
フリーダイヤル
TEL 0120-292-711
FAX 0120-292-722
<https://www.sowel.or.jp/>
社会福祉法人 福利厚生センター
〒101-0052
東京都千代田区神田小川町1-3-1
NBF小川町ビルディング